

Fics-RT1 検査項目

1998. 7. 9
(株) ダイナックス

1、外注部品入荷検査

1-1 メンブレン：全数検査

- (1)汚れ、傷、色むらの目視による外観検査
- (2)部品リードカットの目視による外観検査；2mm以下にカットのこと

1-2 RS232Cケーブル：50本中1本の抜き取り検査

- (1)カシメ金具の下まで網シールドがきていること
- (2)熱収縮チューブがケーブルとカシメ金具の間にあり、シールド部をカバーしていること
- (3)フェライトコアが挿入されていること

1-3 CPUボード：全数検査

- (1)目視によるハンダ付け状態の確認
- (2)部品リードカットの目視による外観検査；2mm以下にカットのこと
- (3)CPUボード単体の機能検査；テストプログラム、テストジグ使用

1-4 EMO-SWAssy：全数検査

- (1)圧着の確認；手でリード線を強めに引っ張る
 - (2)リード線の引き出し方向がSW側であることの目視確認
- ※ハンダ付け状態は、外注で確認し、絶縁用収縮チューブをかぶせる。

1-5 LCD Assy：全数検査

- (1)汚れ、傷、の目視による外観検査
- (2)ハーネス部ハンダ付け状態の目視検査
- (3)圧着の確認；手でリード線を強めに引っ張る

2、完成品検査

- (1)機能検査；テストプログラム、テストジグ使用
- (2)汚れ、傷、色むらの目視による外観検査
- (3)マグネットラバー装着の目視確認

3、出荷検査完了：

上記終了後SER NO. シート（検印付き）を添付し、別項の梱包形態にて出荷待ちとする。